

1 生産力強化 ～担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤づくり～

(1) 担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤整備の推進

① スマート農業の実装を可能とする基盤整備の推進

- 生産性向上や維持管理の省力化を図るため、自動走行農機や I C T 水管理システムなどのスマート農業技術の活用を可能とする基盤整備を推進します。
- スマート農業の導入を促進するために必要な R T K - G N S S 基地局の設置など、環境整備を進めます。



【ほ場整備により大区画化された水田】



【RTK-GNSS 基地局】



【ロボットトラクター】



【自動操舵田植え機】

② 基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化の加速化

- 担い手への農地集積・集約化や、生産コストの削減を図るため、農地の大区画化等の基盤整備を推進します。
- 担い手の経営規模拡大や効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るため、基盤整備を契機として、農地中間管理機構とも連携しながら、担い手への農地集積・集約化を加速化します。

〈ほ場整備による農地の大区画化〉



【整備前】

農地の
大区画化



【整備後】

経営体育成基盤整備事業 あかがわ 赤川地区（東北町）

〈基盤整備を契機に農地集積を推進〉



地域の合意形成のための話し合いの機会を設け、営農計画の作成を進めながら農地集積を推進します



【集積に向けた話し合い】



【事業実施前】

農地集積率
42.6%→85.3%
(R5.3.31時点)



【事業実施後】

経営体育成基盤整備事業 あかがわ 赤川地区（東北町）

【主な取組事業】

・経営体育成基盤整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業 など

【成果指標】

指標	現状（2024）	目標（2028）	目標値の考え方
水田整備面積	5 か年で 1,000ha 増		直近の実績等を踏まえ、200ha/ 年の水田において 30a 程度以上に整備することを目指します
	（参考）		
	53,966ha （令和 5 年度まで）	54,966ha （令和 10 年度まで）	
スマート農業の実装を可能とする基盤整備を行う面積	5 か年で 800ha 増		直近の実績等を踏まえ、30a 程度以上の区画整理面積 200ha/ 年のうち、8 割においてスマート農業の実装を可能とする基盤整備を行うことを目指します
基盤整備完了地区における担い手への農地集積率	73.0% （令和元～5 年度）	80.0% （令和 6 ～ 10 年度）	基盤整備完了地区における担い手への農地集積率 8 割を目指します

(2) 収益性の高い農業経営を支える基盤整備の推進

③ 高収益作物などへの転換を推進する水田の汎用化・畑地化

- 地域の営農戦略や需要に応じた収益性の高い農業経営を支えるため、これまでの水田での稲作中心の営農体系から野菜や果樹などの高収益作物の導入を可能とする水田の汎用化・畑地化を推進します。
- 水田の畑地利用への円滑な移行を促し、畑作物の需要に応じた生産を促進するため、普及部門と連携して基盤整備を推進します。



【暗渠排水の整備】

基盤整備



【ブロッコリーの作付】



【ニンニクの作付】

④ 高品質・安定生産を支える農地の高機能化

- 農作物の安定生産を支えるため、畑地帯の総合的な整備を進めます。



【スプリンクラーによる散水】

高品質
安定生産



【ゴボウの収穫】

【主な取組事業】

- ・ 経営体育成基盤整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業、農地耕作条件改善事業、畑地帯総合整備事業 など

【成果指標】

指標	現状 (2024)	目標 (2028)	目標値の考え方
暗渠排水整備面積	5 か年で 700ha 増		直近の実績等を踏まえ、30a 程度以上の区画整理面積 200ha/ 年のうち、140ha/ 年において暗渠排水を整備することを目指します

（３）農業農村整備のＤＸの推進

⑤ 農業農村整備プロセス全体でのＩＣＴの活用

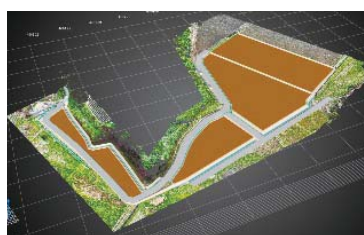
- 産業全体が人手不足に直面する中で、生産基盤を着実かつ合理的に整備していくため、農業農村整備プロセス全体（調査設計、施工、維持管理等）でのＩＣＴの活用を推進します。

３次元測量



ドローンなどを用いて測量し、３次元の復元図を作成

３次元設計データ



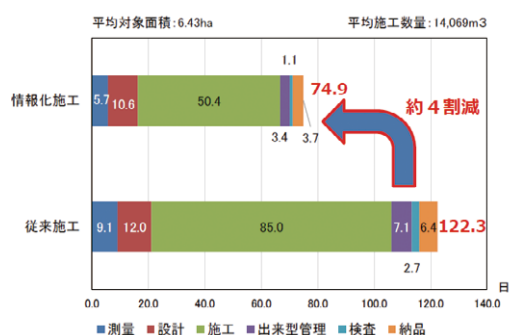
３次元現況図と３次元設計図データを比較し、数量等を一括算出

ＩＣＴ建設機械による施工

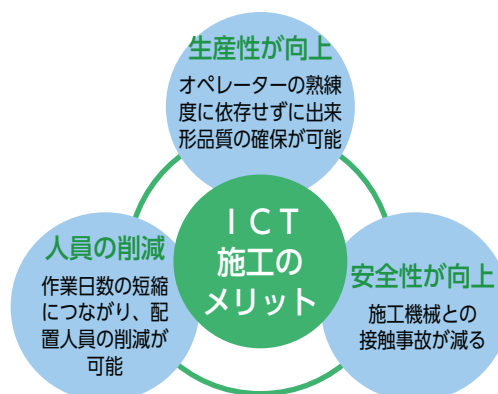


３次元設計データと衛星等から取得した位置情報を活用してＩＣＴ建設機械で施工

〈情報化施工技術による様々なメリット〉



資料：農業農村整備における情報化施工及び３次元データ活用（農林水産省）を加工して使用



【主な取組事業】

- ・ 経営体育成基盤整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業 など

【成果指標】

指標	現状（2024）	目標（2028）	目標値の考え方
ICT活用個施工の実施率	2% （令和４年度）	10% （令和１０年度）	区画整理及び農道等の発注工事件数のうち、10%においてICT活用施工の実施を目指します